



取扱説明書

■ オイルフリースクロールコンプレッサ

SLP-07EE,-07EED

このたびは、オイルフリースクロールコンプレッサをお買上げいただき、ありがとうございました。

- ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
- お読みになった後は、本書を手近な所に保管しご活用ください。

お使いになる前に、必ず下表の空欄に必要事項をご記入ください。

修理・サービスの際に必要となります。

形 式 MODEL	
製造番号 SERIAL NO.	
購 入 先	
購入年月	年 月 日
使用開始日	年 月 日

残留リスク




■機械ユーザによる保護方策が必要な残留リスクマップ (略称：残留リスクマップ)

製品名：「SLP-07EE C5、SLP-07EE C6、SLP-07EE M5、SLP-07EE M6、
SLP-07EED C5、SLP-07EED C6、SLP-07EED M5、SLP-07EED M6」

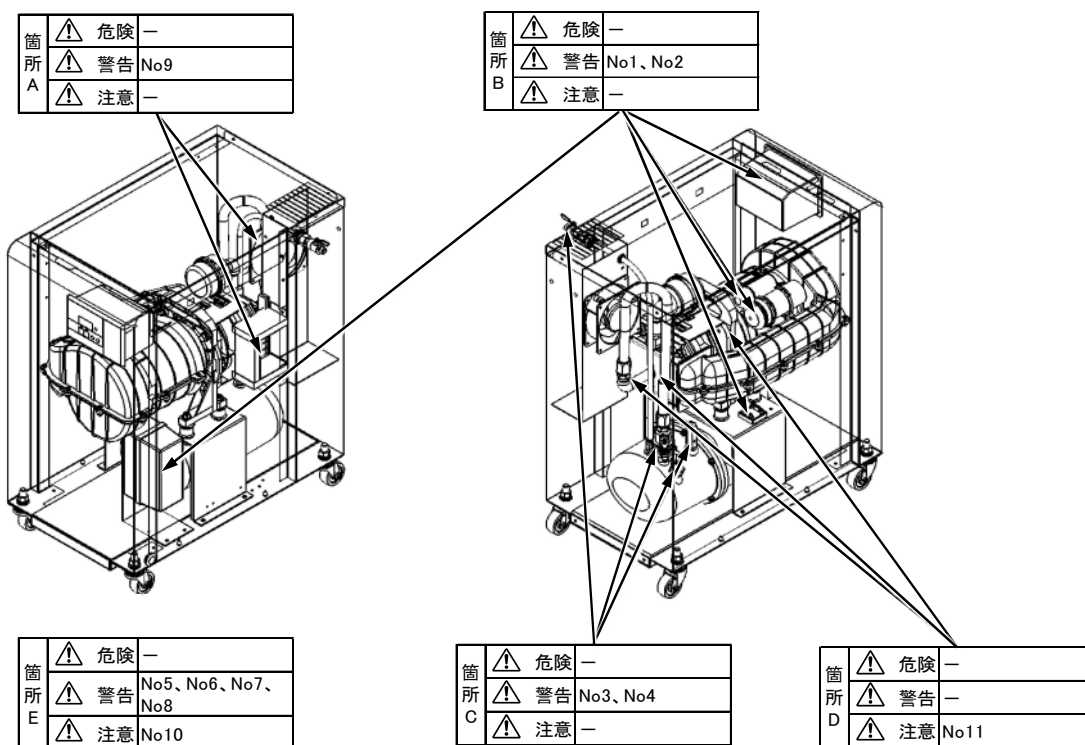
2012年10月23日 作成
アネスト岩田株式会社

※必ず取扱説明書をよく読み、理解してから本製品を使用すること。本資料は取扱説明書の参考資料であり、
本資料の内容を理解しただけで本製品を使用してはならない。

残留リスクは、下記の定義に従って分類し記載している。

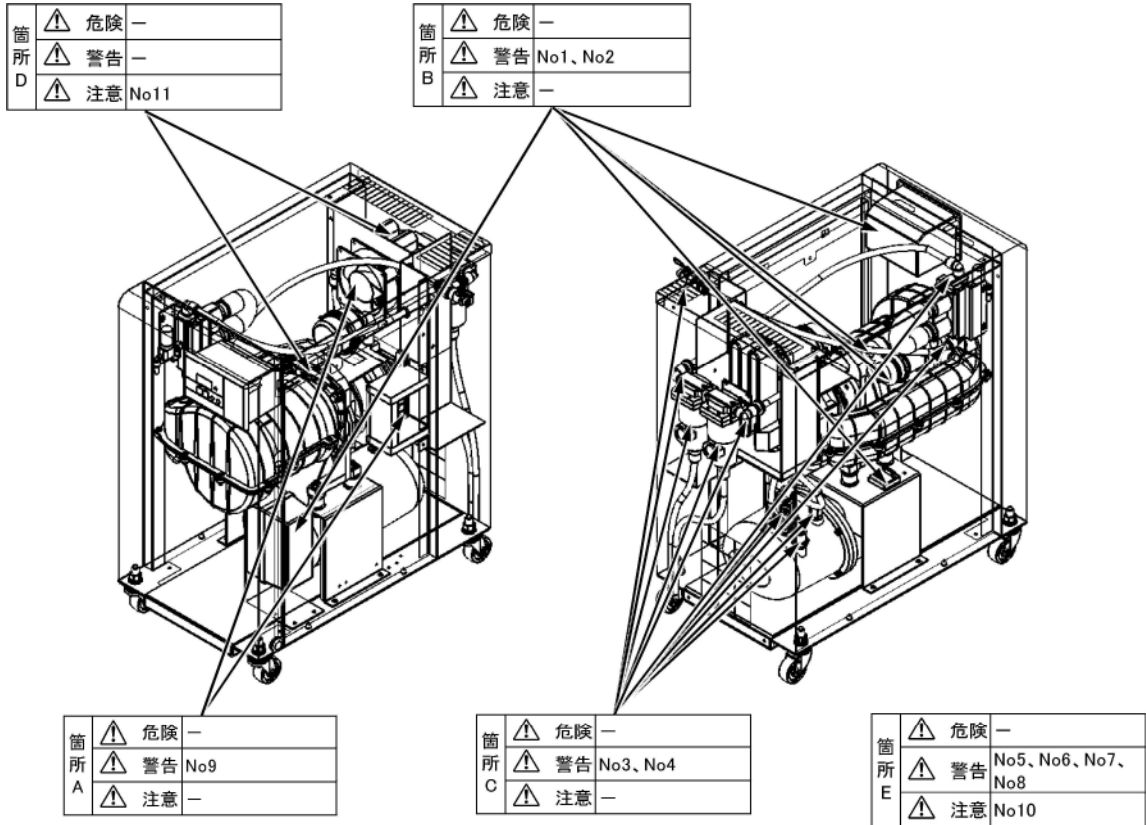
- ・  危険：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容
- ・  警告：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ・  注意：保護方策を実施しなかった場合に、人が軽傷を負う可能性がある内容

図中に示されている箇所Aの記号及び番号は、本製品の「残留リスク一覧」に記載されているものと一致している。各々の残留リスクの詳細については、「残留リスク一覧」を参照のこと。



SLP-07EE C5、SLP-07EE C6、SLP-07EE M5、SLP-07EE M6

残留リスク



SLP-07EED C5、SLP-07EED C6、SLP-07EED M5、SLP-07EED M6

残留リスク

■機械ユーザによる保護方策が必要な残留リスク一覧 (略称：残留リスク一覧)




製品名：「SLP-07EE C5、SLP-07EE C6、SLP-07EE M5、SLP-07EE M6、
SLP-07EED C5、SLP-07EED C6、SLP-07EED M5、SLP-07EED M6」

2012年10月23日

アネスト岩田株式会社

※必ず取扱説明書の内容をよく読み、理解してから本製品を使用すること。本資料は取扱説明書の参考資料であり、本資料の内容を理解しただけで本製品を使用してはならない。

残留リスクは、下記の定義に従って分類し記載している。

- ・  危険：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容
- ・  警告：保護方策を実施しなかった場合に、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ・  注意：保護方策を実施しなかった場合に、人が軽傷を負う可能性がある内容

※2「機械上の箇所」として示されている記号は、本製品の「残留リスクマップ」に記載されている機械上の箇所の記号である。機械上の具体的な箇所については、「残留リスクマップ」を参照のこと。

No	運用段階	作業	作業に必要な資格・教育	機械上の箇所※2	危害の程度※1	危害の内容	機械ユーザが実施する保護方策	取扱説明書のページ
1	準備 運転 保守	設置する時 運転する時 メンテナンスを実施する時	電気工事士 または 専門業者	B	警告	感電する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネルを取り外して運転しない。 ・ 保護カバーを外して運転しない。 ・ 電気配線工事は有資格者に依頼する。 ・ アースをとり接地させる。 ・ 規定サイズの漏電遮断器を使用する。 ・ ナイフスイッチ等のヒューズ式保護スイッチは使用しない。 ・ 電気配線を行う場合や電気品に触れる場合は、停止スイッチを押してコンプレッサを停止させ、必ず元電源を切る。 	P7、P18、P19、 P20、P30
2	運転 保守	運転する時 メンテナンスを実施する時	電気工事士 または 専門業者	B	警告	発火により火傷をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定以下の電源用ケーブルを使用しない。 ・ 電気配線工事は有資格者に依頼する。 ・ 電気配線を行う場合や電気品に触れる場合は、停止スイッチを押してコンプレッサを停止させ、必ず元電源を切る。 	P18、P19

残留リスク

No	運用段階	作業	作業に必要な資格・教育	機械上の箇所※2	危害の程度※1	危害の内容	機械ユーザが実施する保護対策	取扱説明書のページ
3	運転 保守	運転する時 メンテナンス を実施する時	—	C	警告	圧縮空気が噴 出したり、物が 飛散すること でケガをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルを取り外して運転しない。 ・保護カバーを外して運転しない。 ・安全弁のチェック時に安全弁に顔を近づけない。 ・保安機器の設定を無断で変更しない。 ・作業に入る前には必ず圧縮機の空気をすべて抜き、圧力がゼロであることを確認する。 ・作業に入る前には停止スイッチを押してコンプレッサを停止させ、必ず元電源を切る。 	P8、P29、P30
4	運転	運転する時	—	C	警告	圧縮空気を吸引してケガをする。 また、圧縮機周辺の大気に有毒ガス等が含まれていると、同じものが圧縮空気にも含まれるため、吸引すると人体に重大な影響を与える。	<ul style="list-style-type: none"> ・圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しない。 ・周囲に有毒ガス等がない場所に設置する。 	P7
5	運転	運転する時	—	E	警告	コンプレッサが故障すると人命にかかわる設備が止まり人体に重大な損傷をあたえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・圧縮空気を人命にかかわる設備に使用しない。 	P7
6	準備 運転 保守	設置する時 運転する時 メンテナンス を実施する時	—	E	警告	爆発・発火し怪我・火傷をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・爆発性・引火性ガス、有機溶剤など、可燃物の付近に設置しない。 	P7、P14
7	運転 保守	運転する時 メンテナンス を実施する時	—	E	警告	感電する。 発火により火傷する。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外に設置しない。 ・雨・蒸気が当たる場所、湿度が高い場所、結露しやすい場所に設置しない。 	P7、P14
8	準備 運転 保守	設置する時 運転する時 メンテナンス を実施する時	—	E	警告	爆発・発火し怪我・火傷をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・空気以外を圧縮しない。 	P7

残留リスク

No	運用段階	作業	作業に必要な資格・教育	機械上の箇所※2	危害の程度※1	危害の内容	機械ユーザが実施する保護方策	取扱説明書のページ
9	運転保守	運転する時 メンテナンスを実施する時	—	A	警告	ファン・本体回転部に手や工具等を近づけると巻き込まれけがをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルを取り外して運転しない。 ・保護カバーを外して運転しない。 ・作業に入る前には停止スイッチを押してコンプレッサを停止させ、必ず元電源を切る。 	P8、P24
10	準備	設置する時	—	E	注意	コンプレッサが落下してはさまれたり下敷きになり怪我をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・質量に十分耐えられる(余裕のある)吊り具を使用する。 ・重心位置を考慮しバランスよく吊り上げる。 	P14
11	運転保守	運転する時 メンテナンスを実施する時	—	D	注意	高温部に触れて火傷をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルを取り外して運転しない。 ・保護カバーを外して運転しない。 ・運転中や運転直後のコンプレッサ各部に手を触れない。 ・冷えてからメンテナンスを実施する。 	P9

はじめに

■ 重要なお知らせ




この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。






この取扱説明書は、すぐに確認できる場所に大切に保管してください。

● 注意喚起の表示

	危険	警告内容を怠った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生ずることが想定されることを示します。
	警告	警告内容を怠った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
	注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。

● 絵表示の例

	△記号は「注意すべきこと」を意味しています。 記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。 (左の例は感電注意)
	⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。 記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。 (左の例は接触禁止)
	●記号は「しなければならないこと」を意味しています。 記号の中に、具体的な指示内容を表示します。 (左の例は必ずアース線を接続せよ)

* 警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害、損傷については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

重要	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。
-----------	---

● この商品の保証について

巻末に保証と修理サービスについての説明があります。よくお読みください。

はじめに

■安全上のご注意

警告

 安全な場所に設置 近くに爆発性ガス、引火性ガス、有機溶剤など、可燃物のない場所に設置してください。 爆発・発火の原因になります。
 屋外設置禁止 屋外には設置しないこと。(本製品は耐水構造となっておりません) 電気系統に水がかかると感電や火災の原因になります。
 電源の遮断 点検・配線作業時には必ず元電源を切ること。 感電・人体に重大な損傷を与える危険性があります。
 有資格者に依頼 電気配線は電気工事士または電気工事店に依頼すること。 感電や火災の原因になります。
 アース接続 アース工事を必ずおこなうこと。 感電や火災の原因になります。
 空気以外のガス圧縮禁止 空気以外の圧縮には絶対使用しないこと。 爆発・発火・破損などの原因になります。
 吸入用使用禁止 圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないこと。 人体に重大な損傷を与える危険性があります。
 使用禁止 圧縮空気を人命に関わる設備には使用しないこと。 人体に重大な損傷を与える危険性があります。

はじめに



接触禁止

元電源が入った状態で回転部(ファン・本体排風部)に手を触れないこと。

手が巻き込まれることがあります。



圧力放出の実施

点検・整備をおこなう場合には空気タンクの圧力を必ず放出し、圧力のないことを確認してから点検・整備をおこなってください。

部品が圧力で飛ぶことがあり、けがをするおそれがあります。



保守点検の実施

整備基準にしたがって、点検・整備をおこなってください。

発火・故障をするおそれがあります。



改造禁止

コンプレッサの改造は絶対にしないこと。

破損事故や寿命低下の原因になります。

はじめに

⚠️ 注意



接触禁止

運転中や運転直後はコンプレッサ各部に直接手を触れないこと。

火傷をするおそれがあります。



規定温度で使用

周囲温度が2～40℃(運転中)の場所で使用のこと。

2℃以下ではドレンの凍結により、故障の原因になります。

40℃以上では寿命低下や故障の原因になります。



塵埃のない場所で使用

ゴミやほこりの少ない場所に設置のこと。

故障の原因になります。



腐食性ガスのない場所で使用

腐食性ガスのない場所に設置のこと。

故障の原因になります。



ノイズのない場所に設置

周囲にノイズなどのない場所に設置してください。

誤作動の原因になります。



修理依頼

修理は専門の業者に依頼すること。

故障・寿命低下の原因になります。



純正部品の使用

整備に関わる交換部品は、必ず当社純正部品を使用すること。

故障や寿命低下の原因になります。

目次

残留リスク	1～5
■機械ユーザによる保護方策が 必要な残留リスクマップ	1～2
■機械ユーザによる保護方策が 必要な残留リスク一覧	3～5
はじめに	6～9
■重要なお知らせ	6
■安全上のご注意	7～9
目次	10～11
お使いになる前に	12
■現品確認	12
各部の名称	13
設置	14～19
■設置上の注意	14～16
■配管	17
■配線	18～19
試運転	20～21
■試運転	20～21
操作パネル各部の名称	22～25
■操作パネル各部の名称	22
■運転・停止	22
■モード	23
■圧力変更	24
■台数制御の切り替え	24
■停電復帰	25
■遠隔操作について	25
ドライヤ	26
■運転・停止	26
■ドレン	26

目次

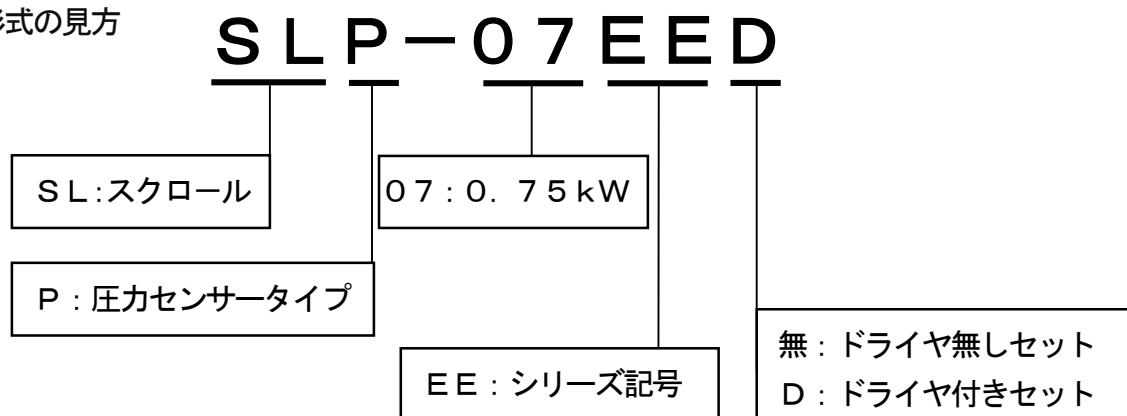
保守・点検	27～31
■整備基準	27～28
■保守方法	29～31
故障の原因と対応	32～35
■異常表示と対応	32
■警報表示と対応	33
■コンプレッサの異常と対応	34～35
■ドライヤの異常と対応	35
仕様	36
付録	37～43
■組立図	37～38
■配線図	39～40
■配管図	41～42
■外観寸法	43
■回路図	44
関連法規	45～46
■労働安全衛生法に基づくもの	45
■騒音規制および公害防止法に 基づくもの	46
保証と修理サービス	47～48
■保証について	47～48
■修理サービスについて	48

お使いになる前に

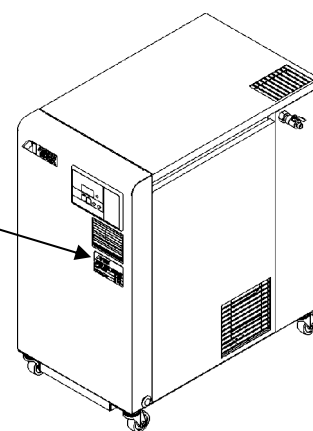
■現品確認

●形式・周波数がご注文どおりか、現品を確認してください。

形式の見方



OILFREE SCROLL COMPRESSOR	
MODEL	SLP-07EE
	100V
SERIAL No	
	50Hz
ANEST IWATA Corporation	
MADE IN JAPAN	



●輸送中に変形や破損した箇所がないか確認してください。

●付属品が全てあるか確認してください。

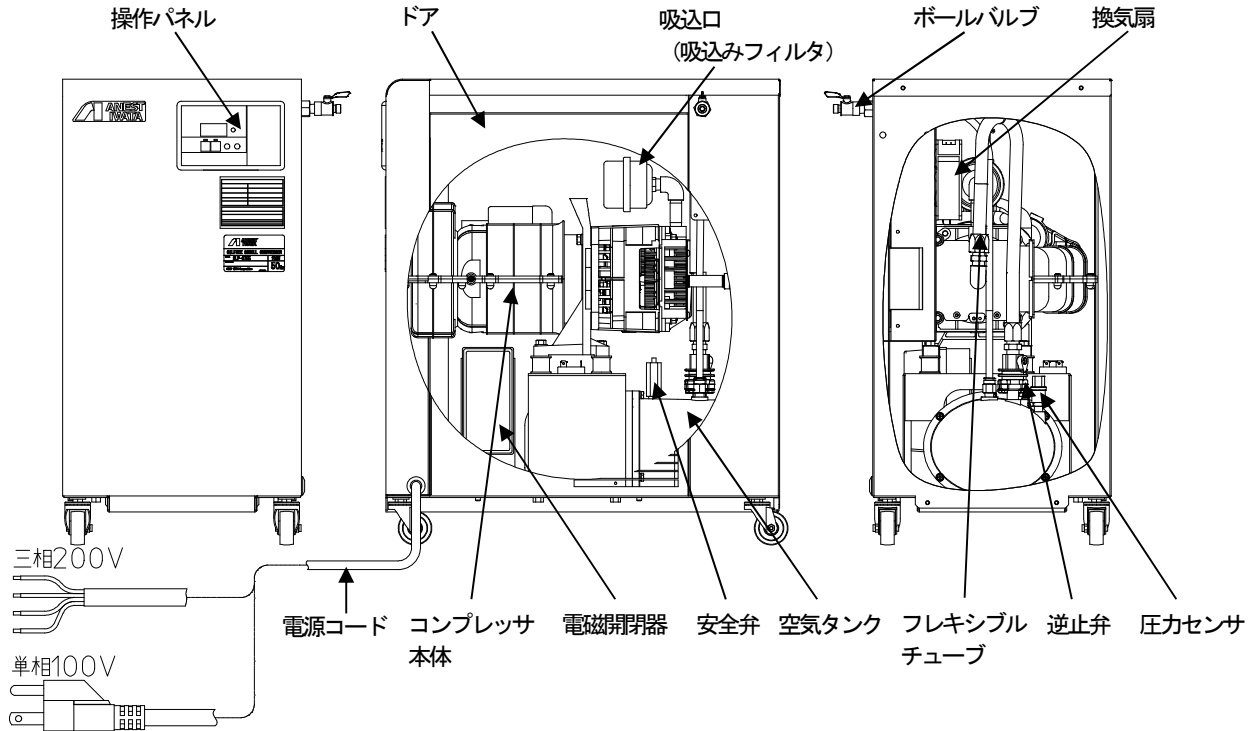
○取扱説明書（本書）

1部

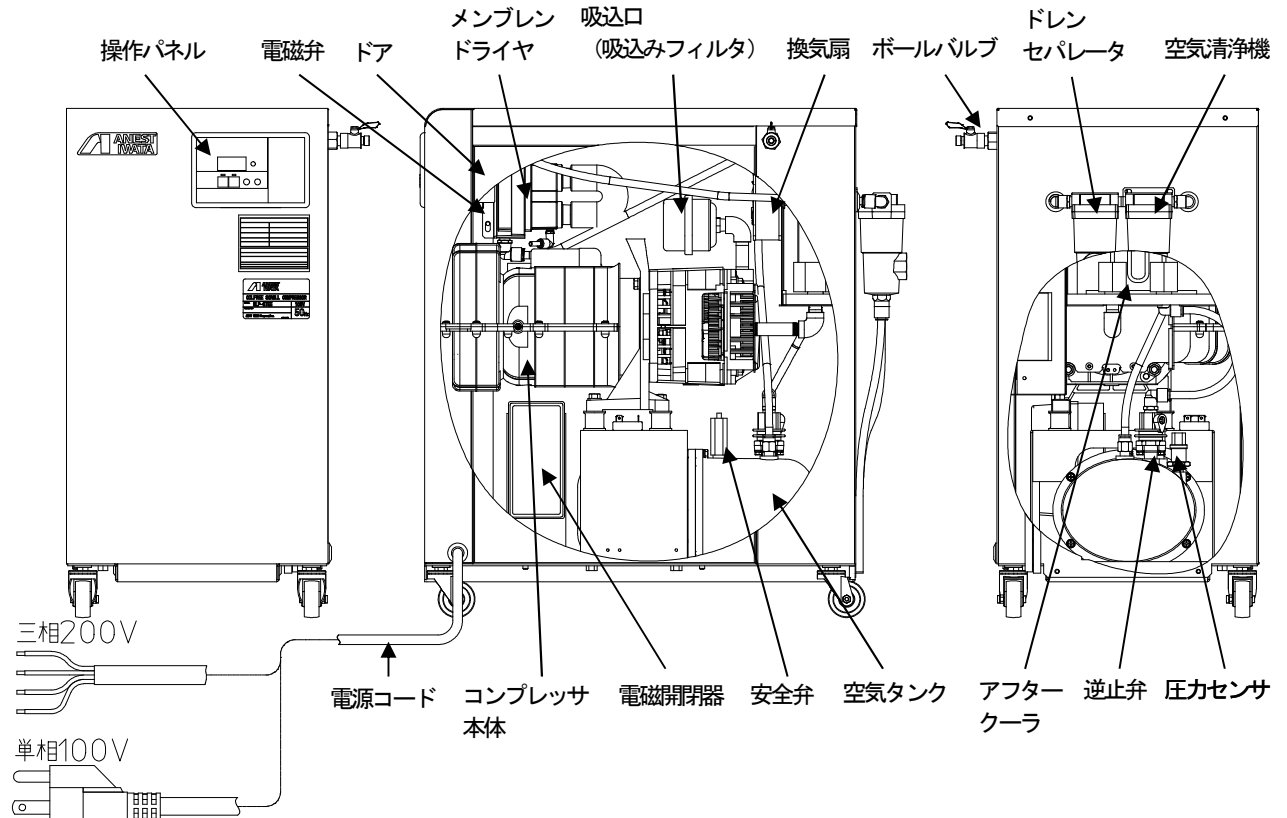
※ オイルフリーコンプレッサの圧縮部には潤滑油は使用していませんので、吐出し空気中の油分は原則としてありませんが、大気中の油分、製造時に部品付着油分など微量ですが、油分が含まれることがあります。

各部の名称

SLP-07EE



SLP-07EED



設置

■設置上の注意

❗ 適した吊り具を使用する

吊り下げに使う吊り具はコンプレッサの質量に十分耐えられるものをご使用ください。また、コンプレッサの重心位置を考慮してバランスよく吊り下げてください。

質量に十分耐えられない吊り具を使用すると、落下事故の原因になります。

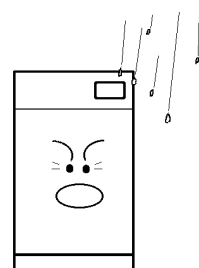


⊘ 設置禁止

雨・蒸気のアたる場所・湿度の高い場所・結露しやすい場所に設置しないでください。

結露したり、湿度が高いと感電・発火の原因になります。

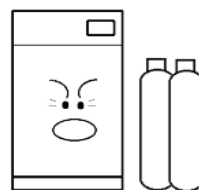
また腐食性ガス(アンモニア・酸・塩分・オゾンガス・亜硫酸ガス)のある場所に設置しないでください。寿命低下原因となります。



⊘ 設置禁止

近くに爆発性ガス・引火性ガス・有機溶剤など、可燃物のある場所に設置しないでください。

爆発発火・故障の原因になります。

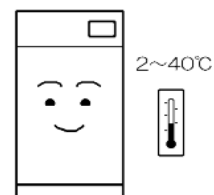


❗ 周囲温度

周囲温度2～40℃で年平均30℃以下にて使用してください。

2℃以下では故障・凍結のおそれがあります。

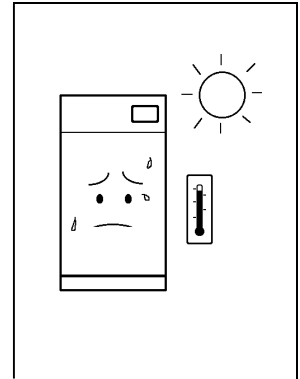
40℃以上および年平均30℃以上では故障の原因になります。



設置

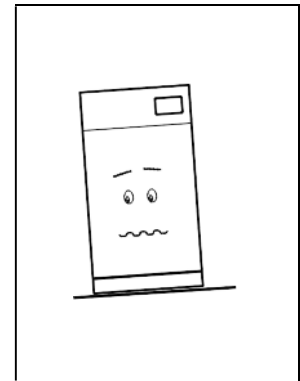
⊘ 設置禁止

直射日光の当たる場所設置しないでください。
機械内部の温度が上がリ、故障の原因になります。



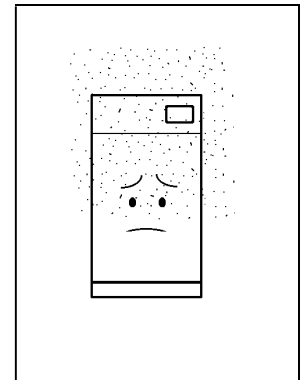
! 水平設置

水平な床に設置してください。
床が平らでないと異常振動・異音の要因となり、故障の原因になります。



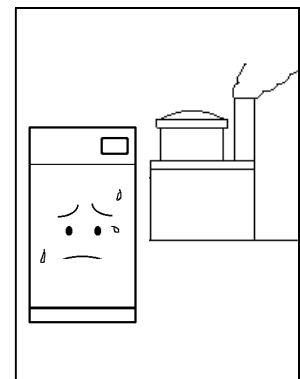
⊘ 設置禁止

塵埃の多い場所には設置しないでください。
温度上昇・摩耗の増加により、寿命の低下・故障の原因になります。



⊘ 設置禁止

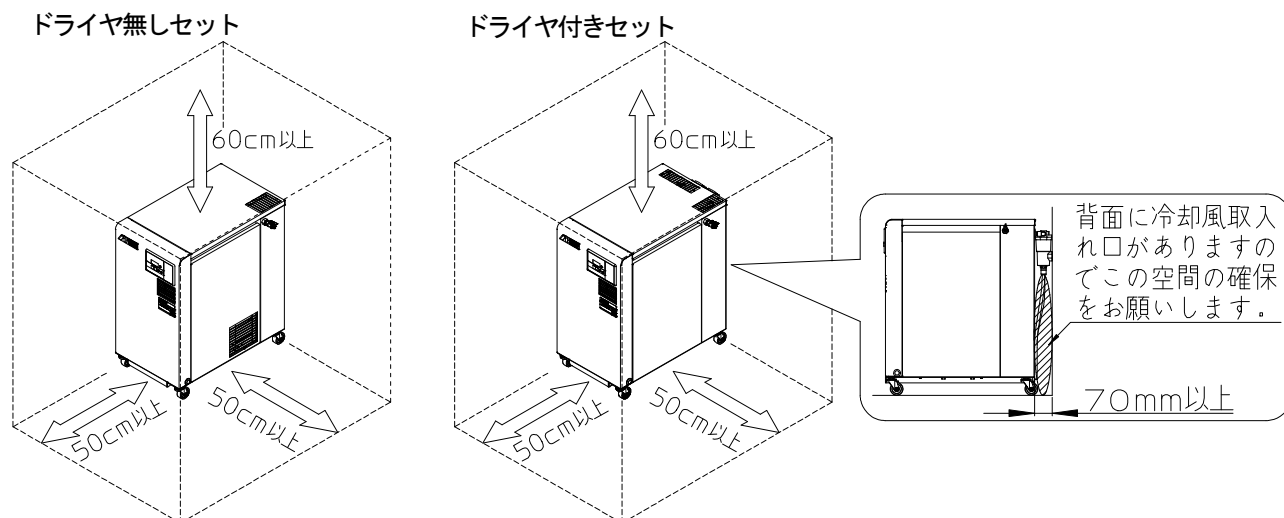
原子力関連施設など特別な維持管理や信頼性が必要となる場所には
設置しないでください。
保証の対象外になります。また、当社指定のサービス店によるメンテナンス
はお受けできません。



設置

●設置スペース

コンプレッサの周囲には図のようなスペースを確保してください。

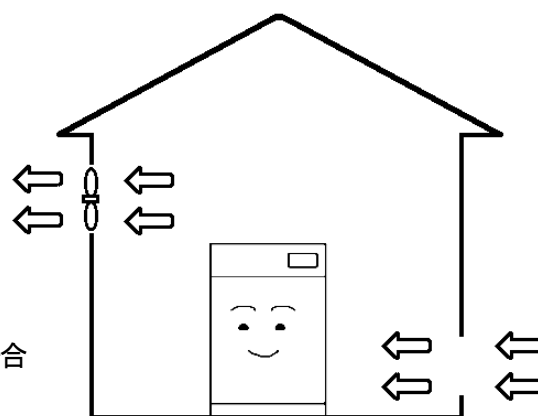


●換気

密閉された室内でご使用の場合は、換気用ファンを取り付けてください。

機種	ファン風量 m ³ /min	吸気有効面積 m ² ※
SLP-07EE SLP-07EED	10	0.056

※全体換気時の吸気口部の流速を3m/secとした場合



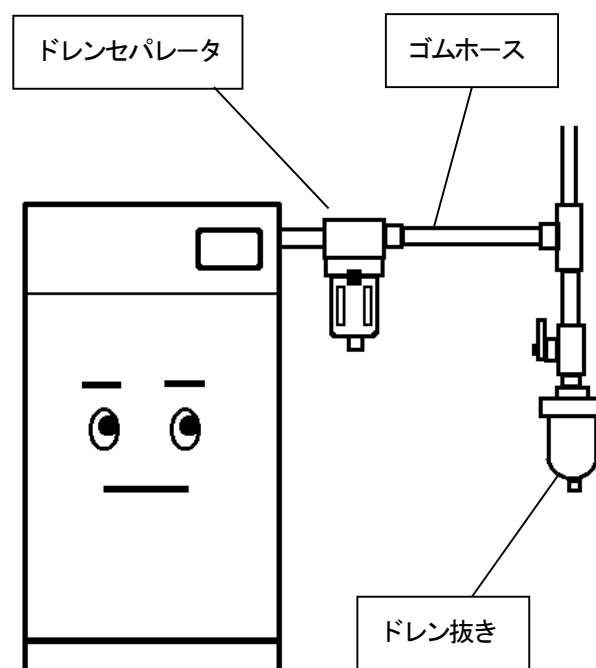
設置

■配管

- コンプレッサ出口と配管との接続は、必ず、ゴムホースで配管してください。鋼管に直接接続したり、フレキシブルチューブを用いると、コンプレッサの振動が配管につたわる場合や、コンプレッサの基板にノイズ障害を起こす恐れがあります。
- ドライヤ無しセットでは、コンプレッサ内で発生した水が配管中に持ち出されることがあるため、コンプレッサ出口にドレンセパレータの設置をお薦めいたします。オプションキットを用意しておりますので、ご利用ください。

ドレンセパレータキット OCX-812

- 立ち上がり配管がある場合は、必ず下部にドレンだまりとドレン抜きを設けてください。
- 運転一停止の回数が多い場合には、別売りのサブタンクの設置をお薦めします。









⚠注意 ゴムホースを使用の場合はオイルフリー用ゴムホース (JIS K 6332) または酸素用ゴムホース (JIS K 6333) を使用してください。上記以外のゴムホースではホースに亀裂等の問題が起こる場合があります。

⚠注意 ドライヤ無しタイプではコンプレッサ出口にドレンセパレータを取り付け、コンプレッサからの水を除去してください。水の除去をおこなわない場合、エアー機器の故障の原因になります。

設置

■配線

●配線の注意

<p> 電源の遮断 点検・配線作業時には必ず元電源を切ること。 感電・人体に重大な損傷を与える危険性があります。</p>
<p> 有資格者に依頼 電気配線は電気工事士または電気工事店に依頼すること。 感電や火災の原因になります。</p>
<p> 規定以下の太さのケーブルの使用禁止 電気配線を長くしたり、規定以下の太さのケーブルを使用しないこと。 100V仕様では、延長コードの使用を避けて直接元電源に接続してください。 〔 やむをえず延長コードを使用する場合は本製品のみ専用コードとし 長さ20m以下、太さ3.5mm²のコードを使用してください。 〕 電動機焼損やケーブル加熱による感電や火災の原因になります。 電圧低下による起動不良の原因となります。</p>
<p> 電源注意 元電源の電圧が機械に書かれた規定電圧（三相200Vまたは単相100V）であるか確認してください。また規定の周波数（50/60Hz）であるかも確認してください。 起動不良、電動機の焼損、本体の破損の原因となります。</p>
<p> 低電圧での使用禁止 運転時の電圧降下が停止時に対して3%以上あるような元電源及び配線事情で使用しないでください。 また、停止時の電圧が規定の90%以下（200V仕様：180V 100V仕様：90V）になる電源仕様では使用しないでください。 起動不良、電動機の焼損の原因となります。</p>
<p> アース接続 アース工事を必ずおこなうこと。 特に単相AC100V電源で、アース線付き2芯コンセントプラグを使用する場合には、必ずアースも結線すること。 感電や火災の原因になります。</p>

設置

●配線

単相AC100V仕様

アース付き電源プラグが標準で接続されています。

定格15A以上のアース付きコンセントで使用してください。

アース線付き2芯コンセントプラグを使用する場合には、必ずアースも結線してください。

3相AC200V仕様

4芯ケーブルが標準で接続されています。

ケーブル先端に適切な圧着端子を使用して漏電遮断器等の元電源に接続してください。

●配線容量

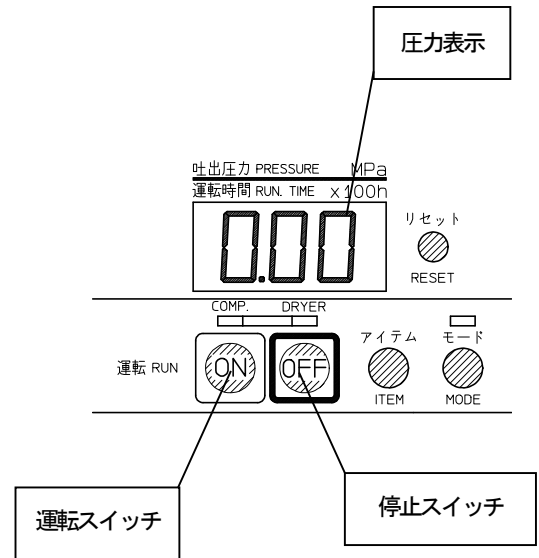
形式	電源	配線容量			漏電遮断器 定格電流 A
		配線長さ L	配線 最小太さ mm/mm ²	アース線 最小太さ mm/mm ²	
SLP-07EE , -07EED	単相 AC100V	(付属コード) L ≤ 3m	1.6/2.0	1.6/2.0	30
		L ≤ 20m	2.0/3.5		
	3相 AC200V	(付属コード) L ≤ 3m	1.6/2.0		15
		L ≤ 20m			

※上記の条件以外では使用しないでください。

試運転

■試運転

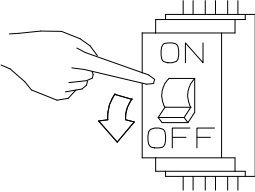
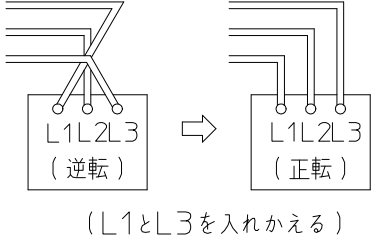
- ボールバルブ(空気取り出し口)
ボールバルブ(空気取り出し口)を全閉にしてください。
- 電源
元電源を入れて、モニターが点灯することを確認してください。
- 運転
運転スイッチを押し、コンプレッサの運転を開始してください。
ドライヤ付きセットは、メンブレドライヤを内蔵しています。そのためドライヤ先行運転の必要はありません。



- 圧力上昇確認
コンプレッサが運転を開始し、圧力が上昇することを確認してください。

❗ 確認 逆回転の場合、圧力が上がらず異音が出ます。(3相電源の場合)
直ちに停止スイッチを押し、コンプレッサを停止させた後、元電源を切り電源3本のうち2本を入れ替え、回転方向を正規の方向に直してください。

⚠ 警告 作業時は必ず停止スイッチを押しコンプレッサを停止させ、感電防止のため元電源をOFFにしてください。

試運転

●制御上限圧力の確認

ボールバルブ(空気取り出し口)を閉じたまま運転をおこない、下表圧力でコンプレッサが停止することを確認してください。

形 式	上限圧(MPa)
SLP-07EE、SLP-07EED	0.8

●制御下限圧力の確認

上限圧力に達してコンプレッサが停止したあと、ボールバルブ(空気取り出し口)を開き、徐々に圧力を下げたときに、下表圧力でコンプレッサが再始動することを確認してください。

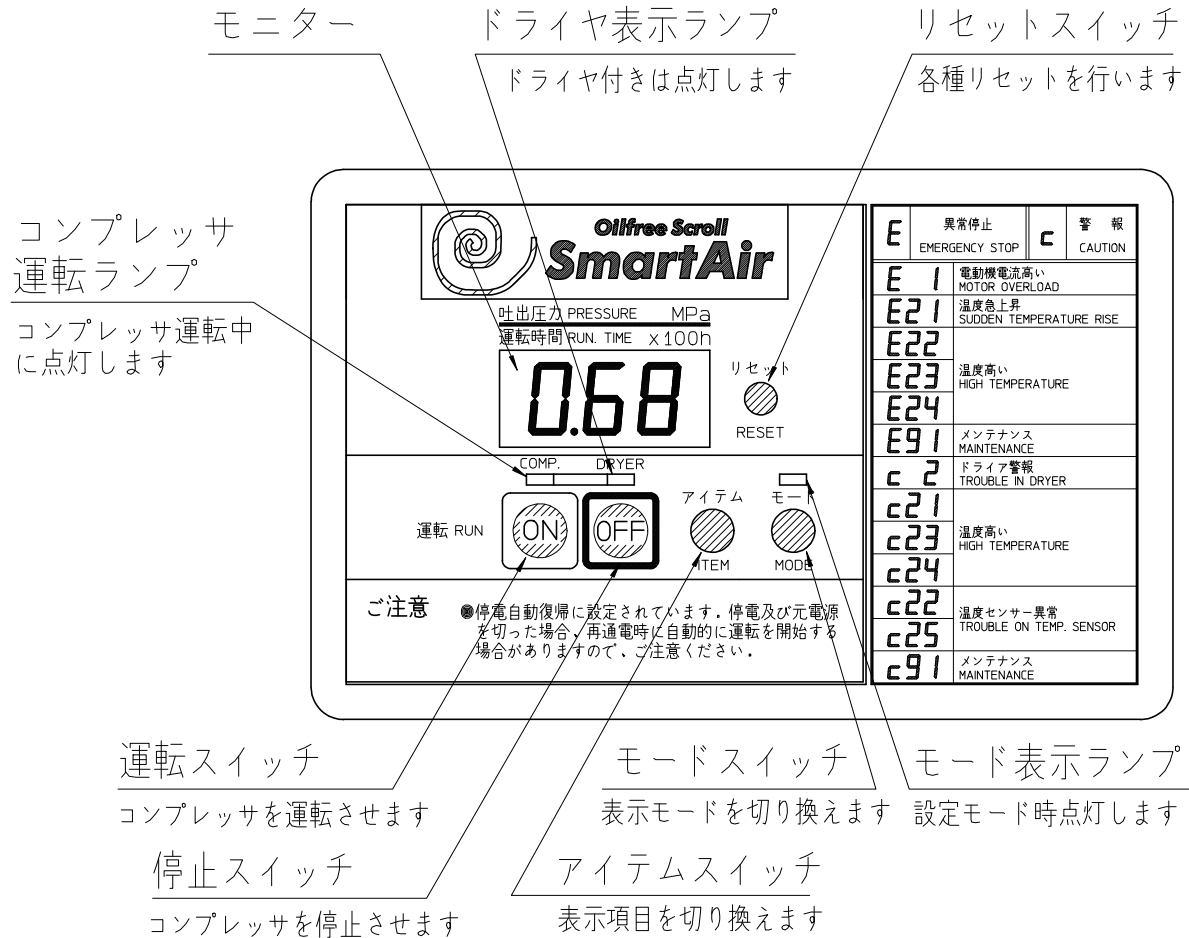
形 式	下限圧(MPa)
SLP-07EE、SLP-07EED	0.6

●停止

停止スイッチを押して、コンプレッサの運転を停止させてください。

操作パネル

■操作パネル各部の名称



■運転・停止

● 運転(ドライヤ無しセット)

運転スイッチを押すことにより、コンプレッサ運転ランプが点灯し、コンプレッサの運転を開始します。

● 運転(ドライヤ付きセット)

運転スイッチを押すことにより、コンプレッサ運転ランプが点灯し、コンプレッサの運転が開始されます。

内蔵のドライヤは、メンブレンドライヤです。ドライヤ先行運転の必要はありません。

ドライヤ付きセットを表すドライヤ表示ランプが点灯します。

● 停止

停止スイッチを押すことにより、運転ランプが消灯しコンプレッサが停止します。

操作パネル

■モード

モードには、通常・設定の二つのモードがあり、モードスイッチを押すごとに切り替わります。
設定モード時はモード表示ランプが点灯します。

● 通常モード

運転状況(圧力・運転時間)
を表示します。

アイテムスイッチを押す
ごとに、圧力と運転時間
の表示が切り替わります。



圧力:
コンプレッサの出口圧力をMPaで表示します。
この場合の圧力は0.64MPaです。



運転時間:
コンプレッサの運転時間をx100hで表示します。
この場合の運転時間は1,800時間です。

● 設定モード

設定モードでは各種設定
の確認をおこないます。



上限圧:
コンプレッサの運転制御上限圧力をMPaで表示
します。この場合の圧力は0.80MPaです。



下限圧:
コンプレッサの運転制御下限圧力をMPaで表示
します。この場合の圧力は0.60MPaです。

アイテムスイッチを押すごとに、
内容が切り替わります。



時間管理:
次の整備までの残時間をx100hで表示します。
この場合の残時間は7,800時間です。



台数制御:
コンプレッサを台数制御に接続設定しているか
否かを表示します。この場合は台数制御接続設
定をしていないことを示します。

- ◆設定モードの確認は、コンプレッサが停止の時のみ行うことができます。
- ◆設定モードにて各種設定変更を行った場合は、設定変更を有効にするために必ず元電源を一旦切り、再度電源を投入してください。

操作パネル

■圧力変更

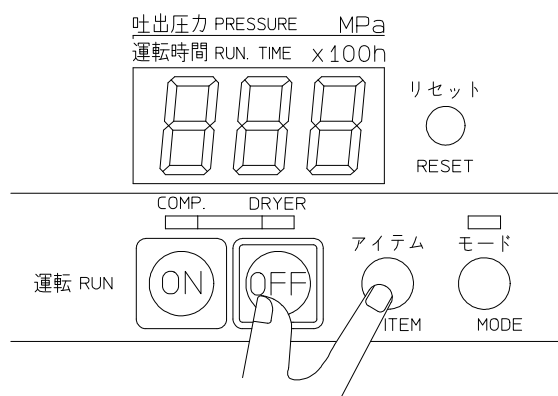
- (1) モードスイッチで設定モードに変更します。
- (2) アイテムスイッチで変更したい上限圧または下限圧を表示します。
- (3) 圧力ダウンOFF+アイテム(OFFを常に押しながらアイテムを必要回数押すこと)により、設定圧を0.01MPaずつ低下させることができます。
- (4) 圧力アップOFF+モード(OFFを常に押しながらモードを必要回数押すこと)により、設定圧を0.01MPaずつ上昇させることができます。
- (5) 設定変更後、一旦元電源を落とし再投入することで有効となります。

❗ 空気タンクを増設する。

圧力を変更して上限圧力と下限圧力の差を小さくしたときは、コンプレッサの始動・停止の頻度が高くなるように30L以上の空気タンクを増設してください。

◆制限事項

- ・ 上限圧は初期設定値以上に上げることはできません。
- ・ 下限圧と上限圧との差圧は0.1MPa未満には小さくはできません。
- ・ 下限圧は0.2MPa未満には下げられません。



(圧力ダウンの場合)

■台数制御の切り替え

台数制御のOFF→ON、ON→OFFの切り替え

- (1) モードスイッチで設定モードに変更します。
- (2) アイテムスイッチで台数制御を表示します。
- (3) リセットボタンを1回押します。(表示が点滅します)
- (4) OFFを常に押しながらリセットを押します。
- (5) 設定変更後、一旦元電源を落とし再投入することで有効となります。

操作パネル

■停電復帰

このコンプレッサには、標準で停電復帰機能が組み込まれています。

運転中（運転ランプ点灯中）に元電源が切れ、電源が再投入された場合は、自動的に運転を開始します。



警告

保守点検時には必ず停止スイッチで停止させた後で、元電源を切ってください。
運転中に元電源を切った場合には、元電源再投入時にコンプレッサが突然起動し
回転部分でけがをする場合があります。

■遠隔操作について

遠隔操作を行う場合は、別売りの遠隔操作キットが必要です。

遠隔操作キットのお求めおよび取り付けについては、お買い求めの販売店、または最寄りの
当社支店・営業所にお申し付けください。

部品番号：OCX-792

（遠隔操作キットを取り付けても、コンプレッサの設定変更は不要です）

ドライヤ

■運転・停止

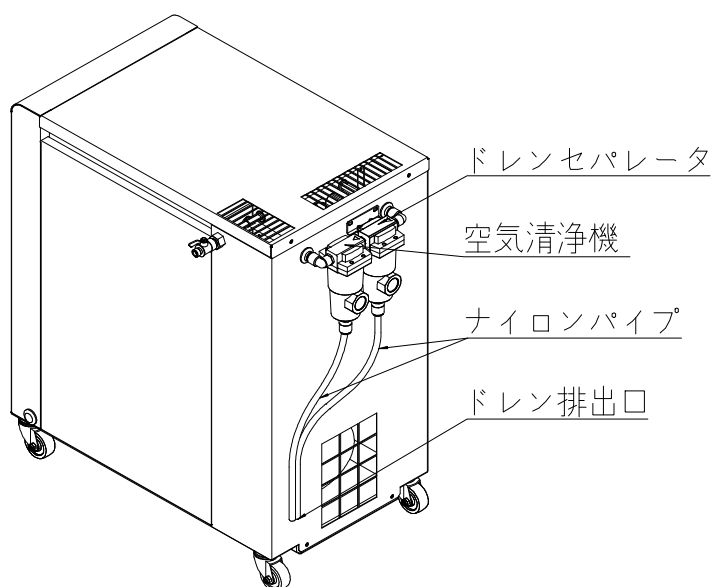
ドライヤ付きセットに内蔵されているドライヤはメンブレンドライヤのため特別な操作は不要です。

■ドレン

ドライヤ付きセットでは、外部に取り付けられたドレンセパレータと空気清浄機で除去された水分がドレンとして自動的にドレンセパレータと空気清浄機に接続されたナイロンパイプから排出されます。

ドレンを受ける容器、配管に接続してドレンの処理を行ってください。

ナイロンパイプを交換する場合は、外径 $\phi 10 \pm 0.1$ mmのナイロンパイプをご使用ください。



❗ 公害などの問題にならないように処置をする。

本機はオイルフリーコンプレッサのため基本的にドレンには油分を含みませんが、ご使用の環境によっては、吸い込む空気中の油分を濃縮してしまうことにより、油分が混入する場合があります。ドレンは公害など問題にならないように処置することをお願いいたします。

保守点検

次の点検項目を下記期間で実施してください。

また、表に掲げた点検期間は年間平均周囲温度30℃の場合での推奨期間です、使用条件が過酷な場合は点検期間を早めてください。平均気温が5℃上昇の場合表の0.7倍の期間をめやすに点検を行ってください。

◆ 整備基準は保証期間とは異なります。

■ 整備基準

●コンプレッサの整備基準

点検・整備は運転時間または期間のいずれか早いほうを基準に行ってください。

項目	点検内容	点検整備期間					
		毎日	400 毎 2ヶ月毎	2000 毎 1年毎	8000 毎 4年毎	16000 8年	
		運転時間 hrs 期間					
異常音・異常振動		○					
換気扇	回転が円滑であること				○☆	●☆	異常あれば交換
吸込フィルタ			○	●			汚れがひどい場合、都度交換
吸気口	清掃		○				
安全弁	作動点検		○				
ナイロンパイプ	ひび割れ・硬化があれば交換			○	●☆		
電磁開閉器	点検・交換			○	●☆		
電動機 絶縁	絶縁抵抗点検				○☆	●☆	異常あれば交換
温度センサ	抵抗値確認				○☆		異常あれば交換
圧力センサ	作動確認				○☆		表示値確認 異常あれば交換
逆止弁	交換				●☆		
電子スイッチ	交換				●☆		
コンプレッサ 本体交換						●☆	

○印は点検 ●印は交換

☆印はお客様において処理することが困難な内容です。

お買い求めの販売店または最寄りの当社支店・営業所までご連絡ください。

◆ 吸込フィルタは消耗品ですので、保証期間中でも有償となります。交換に備えて前もってご用意されるようお勧めします。

保守点検

●ドライヤ整備基準

点検・整備は運転時間または期間のいずれか早いほうを基準に行ってください。

項目	点検内容	検 整 備 期 間						
		運転時間 hrs	毎日	400 毎	2000 毎	8000 毎		16000
		期間		2ヶ月毎	1年毎	4年毎		8年
異常音		○						
空気清浄機	エア漏れ確認	○						
	ドレン排出確認	○						
	点検・清掃・交換		○	●			汚れがひどい場合、都度交換	
ドレンセパレータ	エア漏れ確認	○						
	ドレン排出確認	○					汚れがひどい場合、必要に応じ分解・清掃を行う	
	エレメントの点検・交換		○	●				
電磁弁	作動確認				○☆		異常が合った場合交換	
配管	漏れ点検		○					

○ 印は点検 ● 印は交換

☆ 印はお客様において処理することが困難な内容です。

お買い求めの販売店または最寄りの当社支店・営業所までご連絡ください。

! 点検清掃の実施

ドレンセパレータ・空気清浄機は必ずドライヤ整備基準に基づき点検・清掃・エレメントの交換を行ってください。

※ 上記を行わない場合、メンブレンドライヤの性能が低下し、ドライ空気が得られなくなります。(極端な場合は、水が吐出空気に混入します)
また、メンブレンドライヤ寿命の低下の原因になります。

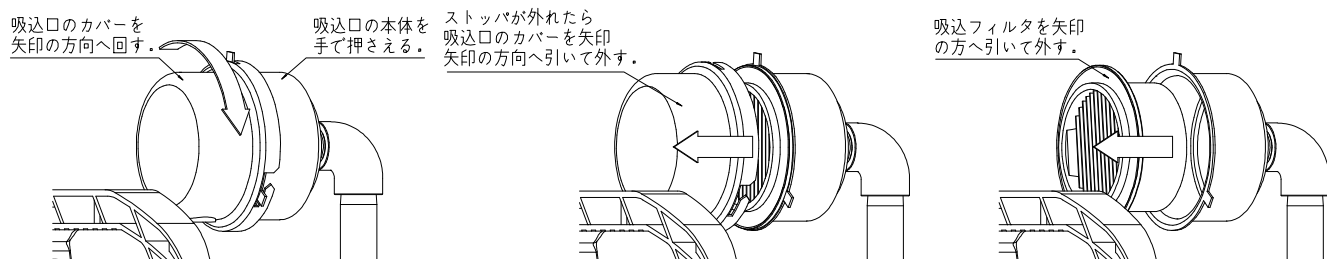
保守点検

■保守方法

400時間毎 または 2か月毎

●コンプレッサ 吸込フィルタ

- ・吸込口のカバーを外して、中の吸込フィルタを取り出します。
- ・エアガン等によりエアを吹きつけ、粉塵を吹き飛ばしてください。
- ・吸込フィルタの汚れがひどい場合は、交換してください。
- ・吸込口のカバーの内側もゴミが付着していれば、エアで吹き飛ばして清掃してください。
- ・本体にねじ込まれている吸込口の本体は外さないでください。
もし吸込口の本体の内部に汚れがある場合は、柔らかい布で拭き取って清掃してください。
この時、本体内部にゴミが入らないように注意してください。



吸込口のカバーと吸込フィルタの取り外し方

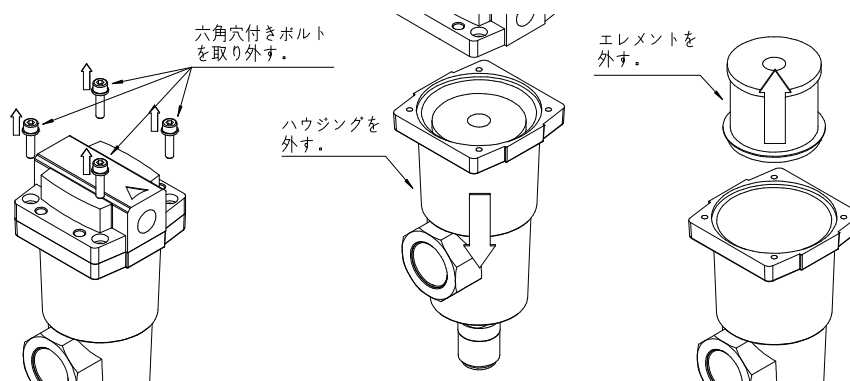


吸込フィルタの清掃方法

保守点検

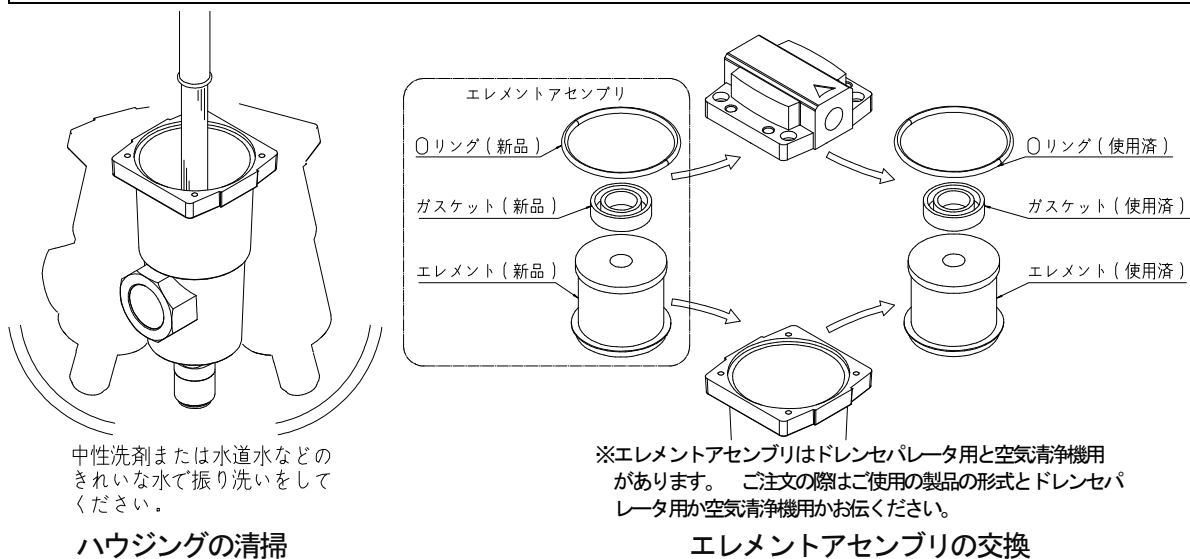
●ドレンセパレータ・空気清浄機（ドライヤ付きセットのみ）

- ・コンプレッサの停止スイッチを押して運転を停止したのち、タンク内の圧縮空気をすべて抜き、空気タンク内に圧力がないことを確認してください。
- ・上部の六角穴付きボルト（4カ所）を緩めてハウジングを外してください。
- ・ハウジングの中に入っているエレメントを取り出し極端な汚れ、目詰まり、破損等の異常がないか点検してください。
- ・もし、エレメントに異常があった場合はエレメントアセンブリで交換してください。
- ・ハウジング内に異物等があった場合には、中性洗剤または水道水等のきれいな水で内部を振り洗いしてください。中性洗剤を使用した場合はしっかりとゆすいでください。



ドレンセパレータと空気清浄機の分解方法

警告 ドレンセパレータ・空気清浄機を点検・清掃する時は、空気タンク内の空気を完全に抜き、圧力のないことを確認してから点検・清掃をおこなってください。部品が圧力で飛び、けがをするおそれがあります。



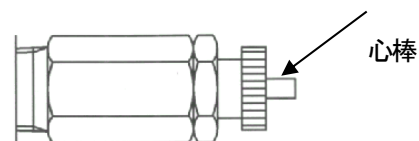
⊘ 溶剤の使用の禁止

エレメント・ハウジング等の部品の清掃に溶剤は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

保守点検

●安全弁

最高圧力付近で安全弁の心棒をつまみ上げ、
吹き出しを確認してください。



警告

安全弁のチェック時に安全弁に顔を近づけない。
噴出した圧縮空気や圧縮空気に混入したゴミでけがをすることがあります。

2000時間毎 または 1年毎

●コンプレッサ 吸込フィルタ

吸込フィルタの交換してください。

吸込口の本体とカバーの清掃は、400時間毎の清掃方法にて実施してください。

●ナイロンパイプ

外れたり、折れたりしていないか確認してください。

●電磁開閉器

必ず元電源を切ってから、カバーを外して各部のネジに弛みがないか確認してください。

結線部分や樹脂部分に異常に黒い煤がついている場合は交換してください。

判断のつかない場合は、お買い求めの販売店または最寄りの当社支店・営業所までご相談ください。



警告

作業時は必ず停止スイッチを押しコンプレッサを停止させ、感電防止のため元電源を
OFFにしてください。
感電する場合があります。

故障の原因と対応

■ 異常表示と対応

コンプレッサに異常が発生すると、モニターに異常番号が点滅表示され、コンプレッサは停止します。異常発生時には発生状況と原因を探し、適切な処置を行ったうえで、操作パネル上のリセットスイッチを押して、異常番号の点滅を解除してください。

原因が不明で処置が不可能な場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの当社支店・営業所まで、ご連絡ください。

● 異常番号と原因

E 1 : 電流高い

電流が高くなるとサーマルリレーがトリップして、E 1 を表示してコンプレッサが停止します。

原因	考えられる要素
電源関係	1. R, T相の欠相 (3相200V仕様の場合) 2. 電圧が低い
コンプレッサ	異常
電動機	異常

E 2 1 : コンプレッサの温度急上昇

E 2 2 : コンプレッサの温度が高い

コンプレッサ本体の温度が高くなると温度センサが作動します。その際に、E 2 1・E 2 2を表示してコンプレッサは停止します。

原因	考えられる要素
周囲温度	設置場所の周囲温度が高い、換気が不十分
冷却	1. 吸気口・吸気金網の目詰まり 2. 排気口がふさがれている 3. 換気扇不良 4. コンプレッサ冷却フィンが目詰まり 5. 吸込みフィルタが目詰まり

E 9 1 : メンテナンス期間超過

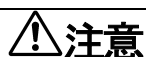
メンテナンス期間を過ぎても整備作業が行われず、C 9 1が解除されないまま継続して200時間運転した場合、電源投入時にE 9 1が表示されます。

すみやかに当社指定サービス店によるメンテナンスを実施し異常を解除してください。

暫定処置として、リセットスイッチを押すことにより運転することができます。

◆この時間は整備基準の最長時間です。必ず整備基準に従いメンテナンスを実行してください。

(「保守点検■整備基準」の項をご覧ください)



注意 メンテナンス期間を過ぎた後、継続して使用した場合の故障・事故に対しては当社にて責任を負うことはできませんのでご注意ください。

故障の原因と対応

■警報表示と対応

警報が発生すると、モニタ部に警報番号が点滅表示されます。

(コンプレッサは停止しません)

警報発生の場合は、電源を切って原因を除去した後、再び電源を投入してください。

警報状態が解除されます。

●警報番号と対応の仕方

C 2 1 : コンプレッサの温度が高い

本体温度が高温になると、C 2 1 が表示されます。

原因	考えられる要素
周囲温度	周囲温度が高い
冷却不良	1. 吸気金網の目詰まり 2. 排気口がふさがれている 3. 換気扇不良 4. コンプレッサ冷却通路の目詰まり 5. 吸込みフィルタの目詰まり

C 2 2 : コンプレッサの温度センサ異常

原因	考えられる要素
センサ	1. 温度センサコードの接触不良 2. 温度センサコードの断線 3. 温度センサの不良
周囲温度	約-10°C以下の低温の場合

C 9 1 : メンテナンス

メンテナンスまでの残時間が200時間以下となったことを知らせるものです。

お買い求めの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申しつけのうえ、整備基準にしたがい、メンテナンスを実行してください。

警報は7800時間ごとにでます。

- ◆この時間はメンテナンス期間の最長時間です。必ず整備基準に従いメンテナンスを実行してください。(「保守点検■整備基準」の項をご覧ください)

重要

必ずお買い求めの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申しつけのうえ、メンテナンスを実施してください

故障の原因と対応

以下に故障の原因を示します。故障と思われる場合の処置として活用してください。

※印はお客様が処理することがむずかしい内容を示します。この場合お問い合わせの販売店 または最寄りの当社支店・営業所までご連絡ください。

■コンプレッサの異常と対応

現象	原因	対策
運転しない	操作パネルに何も表示されない	電源が投入されていない 電源を投入する
		基板のヒューズが切れている ヒューズを交換する
		電源が正しく接続されていない 正しく接続する
		基板不良 点検・修理、または交換 ※
	表示は出るが運転しない	電磁開閉器の不良、または、配線不良 点検・修理、または交換 ※
		運転スイッチ不良 基板の交換 ※
		基板不良 点検・修理、または交換 ※
異常表示が表示されて運転しない	電動機故障 点検・修理、または交換 ※	
	電子ガバナの故障 点検・修理、または交換 ※	
	電圧が低い 電源容量、電源ケーブルの太さを点検し、適正なものに変更	
	E 1が表示	コンプレッサ本体の故障 点検・修理、または交換 ※
		電動機異常 点検・修理、または交換 ※
		相の欠相 モータ配線確認 ※
		サーマル設定値不良 再設定
		電子ガバナの故障 点検・修理、または交換 ※
	電圧が低い 電源容量、電源ケーブルの太さを点検し、適正なものに変更	
	E 2 1・2 2が表示	周囲温度が高い、換気が悪い 設置環境改善、換気方法改善
		吸・排気口の詰まり 詰まり改善
冷却ファン（換気扇）不良 点検		
コンプレッサ冷却通路の目詰まり 点検		
吸込みフィルタの目詰まり 点検		
E 9 1が表示	メンテナンス時間を過ぎている 整備後、リセットスイッチを押して解除する ※	
E r r が表示	基板の異常 漏電遮断器を一度切り、再投入 基板交換 ※	

故障の原因と対応

現象	原因	対策
吐出圧力が上がらない	空気配管に洩れがある	点検、修理
	逆回転	3相の場合は相を変更
	圧力設定値異常	再調整 ※
	吸込フィルタ目詰まり	清掃 または 交換 ※
安全弁が吹く	安全弁の不良	交換 ※
	圧力設定値不良	再設定 ※
異常音がする	逆転している	回転方向確認後、相変更
	コンプレッサ本体の異常	点検・修理、または交換 ※
	電動機異常	点検・修理、または交換 ※
	冷却ファン（換気扇）接触	点検、修理
	ボルト等のゆるみ	点検、増し締め

■ ドライヤの異常と対応

現象	原因	対策
末端機器に水が出る	周囲温度が高い、換気が悪い	設置環境見直し、換気改善
	吸気口が目詰まりしている	清掃
	冷却ファン（換気扇）不良	点検、交換 ※
	パージ配管の外れ	配管を直す
	パージ用電磁弁の故障	点検、交換 ※
	ドレンセパレータの不良	フロートの清掃、交換
	メンブレン膜の異常	点検、交換 ※
空気が流れない	空気清浄機のエレメント目詰まり	エレメントの交換
	メンブレン膜の詰まり	点検、交換 ※
	配管に異物詰まり	除去、もしくは交換 ※
	凍結している	
	周囲温度が2℃以下になっている	周囲温度を高くする

仕様

項目		SLP-07EE	SLP-07EED	
コンプレッサ	コンプレッサ形式	SL-105EF/106EF		
	設置条件	屋内		
	吸い込み条件	圧力	大気圧	
		温度 °C	2~40	
	運転制御方式	圧力発停式[センサ検知]		
	吐出し圧力 MPa	0.6~0.8		
	吐出空気量*1 L/min	74	64	
	回転速度(50/60Hz) min ⁻¹	単相 AC100V : 2850/3450 3相 AC200V : 2840/3420		
	駆動方式	直結		
	吐出し空気温度 °C	吸込温度+5~+22	吸込温度+2~+15	
	吐出し出口管径	G1/4 おねじ[ボールバルブ]		
	空気タンク容積*2 L	5		
	別置タンク推奨容量 L	36以上		
	騒音*3 正面 1.5m dB(A)	45		
地盤振動*4 dB(A)	45以下			
電動機	電動機種別	全閉外扇形・2極・B種絶縁		
	定格出力 kW	0.75		
	電圧 V	単相 AC100/3相 AC200		
	定格電流 50/60Hz A	単相 AC100V : 11.3/11.0 3相 AC200V : 3.3/3.3		
始動方式	電磁開閉器付 直入始動			
保護	過熱停止	付 [事前警報付]		
	過電流停止	付		
ドライヤ	出口空気露点(加圧下) °C	—	15	
	方式	—	メンブレン	
	冷媒	—	無し	
	パージ方式	—	本体連動カット機能付	
その他	寸法(全幅×奥行×全高)*5 mm	355×590×690	355×660×690	
	概略重量 kg	46	48	

注 *1 吐出し空気量は最高圧力時の運転時に吐出す空気量を吸込状態(大気圧)に換算した平均値です。保証値ではありません。

*2 使用条件により別置の補助タンク設置が必要な場合があります。容量選定は別途お問合せ下さい。

*3 騒音値は無響音室での測定値です。

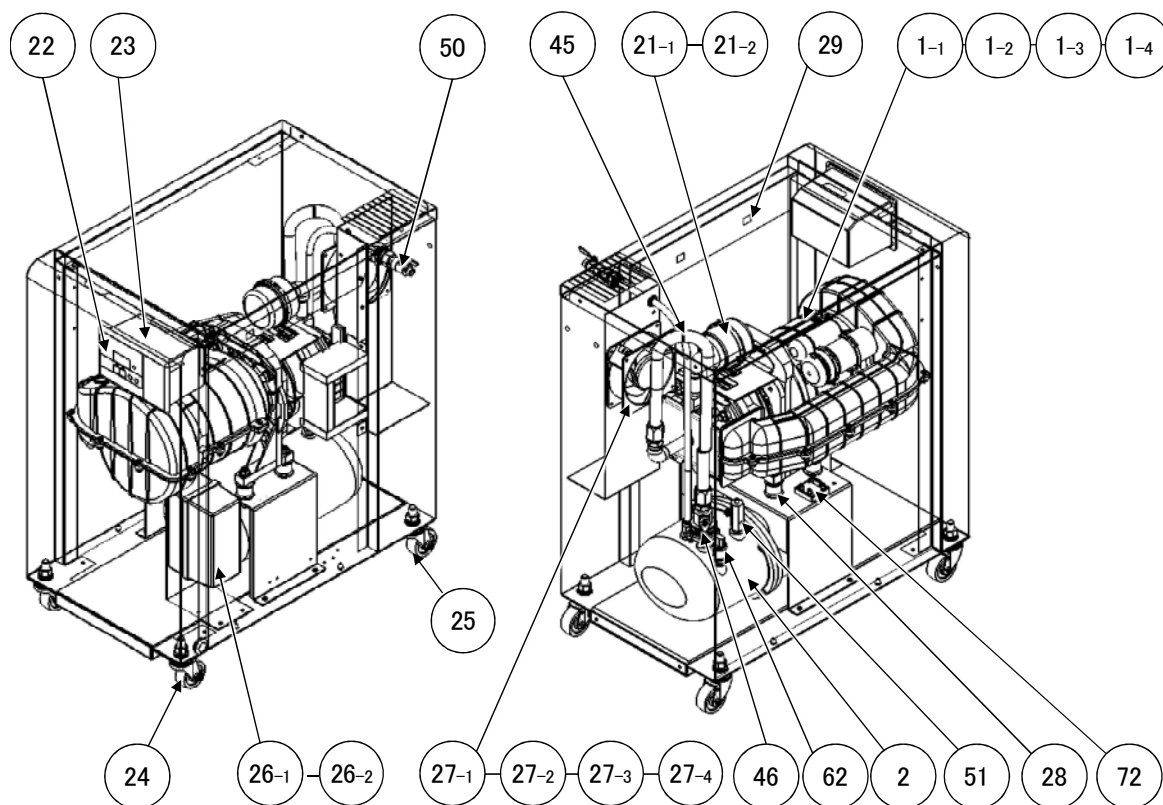
*4 地盤振動値は圧縮機側面より1mの位置での測定値です。(地盤状況により振動値は変化します。データは通常コンクリート床上に放置した参考値です。)

*5 寸法はパッケージ外周寸法です。突起物は含みません。

付録

■組立図

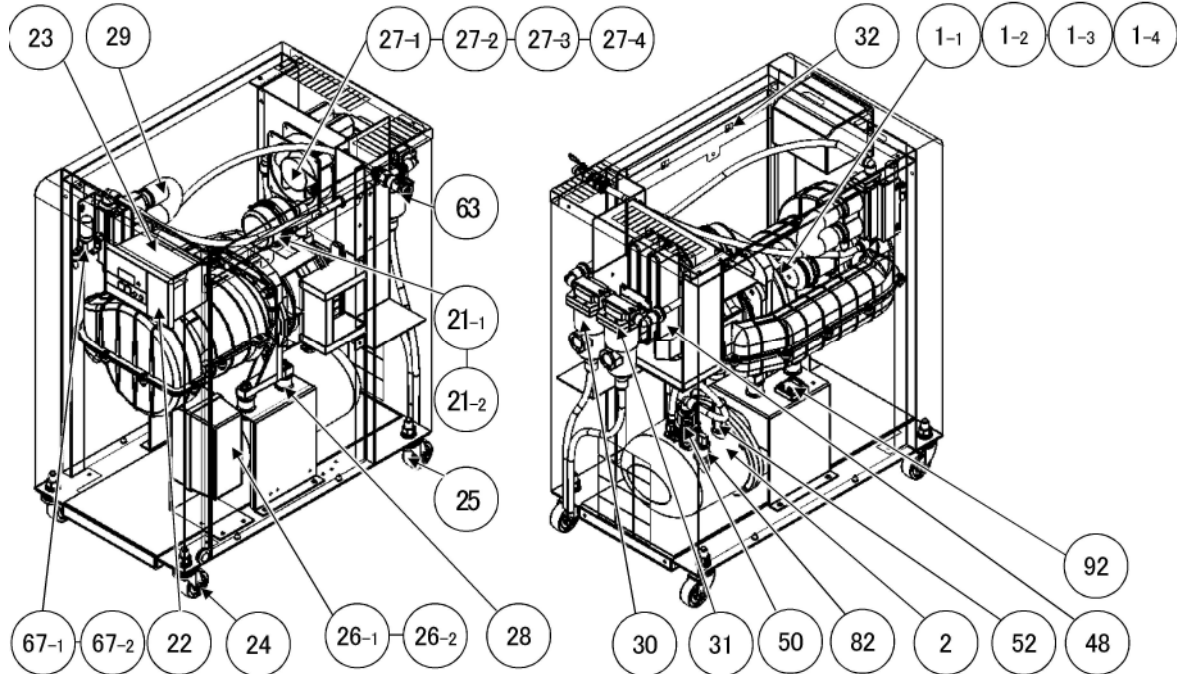
●ドライヤ無しセット



No.	品名	使用数量	No.	品名	使用数量
1-1	オイルフリースクロールコンプレッサ(AC100V-50HZ)	1	27-1	換気扇セット(100V 50HZ)	1
1-2	オイルフリースクロールコンプレッサ(AC100V-60HZ)	1	27-2	換気扇セット(100V 60HZ)	1
1-3	オイルフリースクロールコンプレッサ(AC200V-50HZ)	1	27-3	換気扇セット(200V 50HZ)	1
1-4	オイルフリースクロールコンプレッサ(AC200V-60HZ)	1	27-4	換気扇セット(200V 60HZ)	1
2	空気タンクセット	1	28	防振ゴム	4
21-1	吸込口セット	1	29	ラッチアンドストライク	2
21-2	フィルタ	1	45	フレキシブルチューブ	1
22	基板箱	1	46	逆止弁	1
23	基板カバー	1	50	ボールバルブ	1
24	キャスタ	2	51	安全弁	1
25	キャスタ	2	62	圧力センサ	1
26-1	電磁開閉器(AC100V)	1	72	電子スイッチ(AC100Vのみ)	1
26-2	電磁開閉器(AC200V)	1			

付録

● ドライヤ付きセット

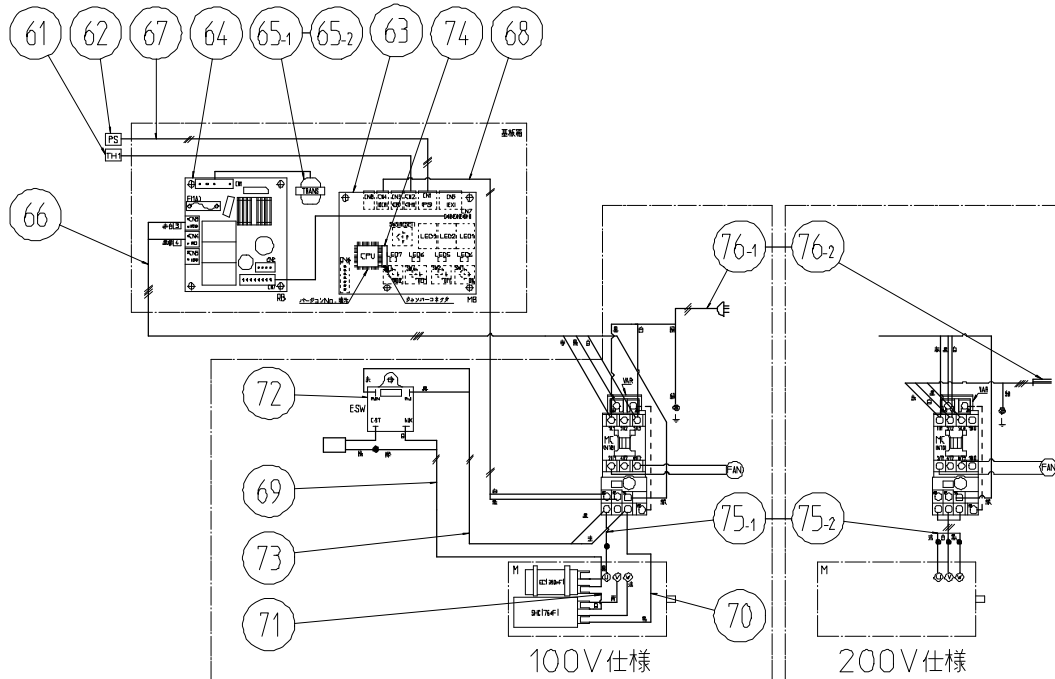


No.	品名	使用数量	No.	品名	使用数量
1-1	オイルフリースクロールコンプ(AC100V-50HZ)	1	28	防振ゴム	4
1-2	オイルフリースクロールコンプ(AC100V-60HZ)	1	29	メンブレドライヤ	1
1-3	オイルフリースクロールコンプ(AC200V-50HZ)	1	30	空気清浄機	1
1-4	オイルフリースクロールコンプ(AC200V-60HZ)	1	31	ドレンセパレータ	1
2	空気タンクセット	1	32	ラッチアンドストライク	2
21-1	吸込口セット	1	48	アフタークーラ	1
21-2	フィルタ	1	50	逆止弁	1
22	基板箱	1	52	安全弁	1
23	基板カバー	1	63	ボールバルブ	1
24	キャスタ	2	67-1	電磁弁(AC100V)	1
25	キャスタ	2	67-2	電磁弁(AC200V)	1
26-1	電磁開閉器(AC100V)	1	82	圧力センサ	1
26-2	電磁開閉器(AC200V)	1	92	電子スイッチ(AC100Vのみ)	1
27-1	換気扇セット(100V 50HZ)	1			
27-2	換気扇セット(100V 60HZ)	1			
27-3	換気扇(200V 50HZ)	1			
27-4	換気扇(200V 60HZ)	1			

付録

■配線図

●ドライヤ無しセット



100V仕様用

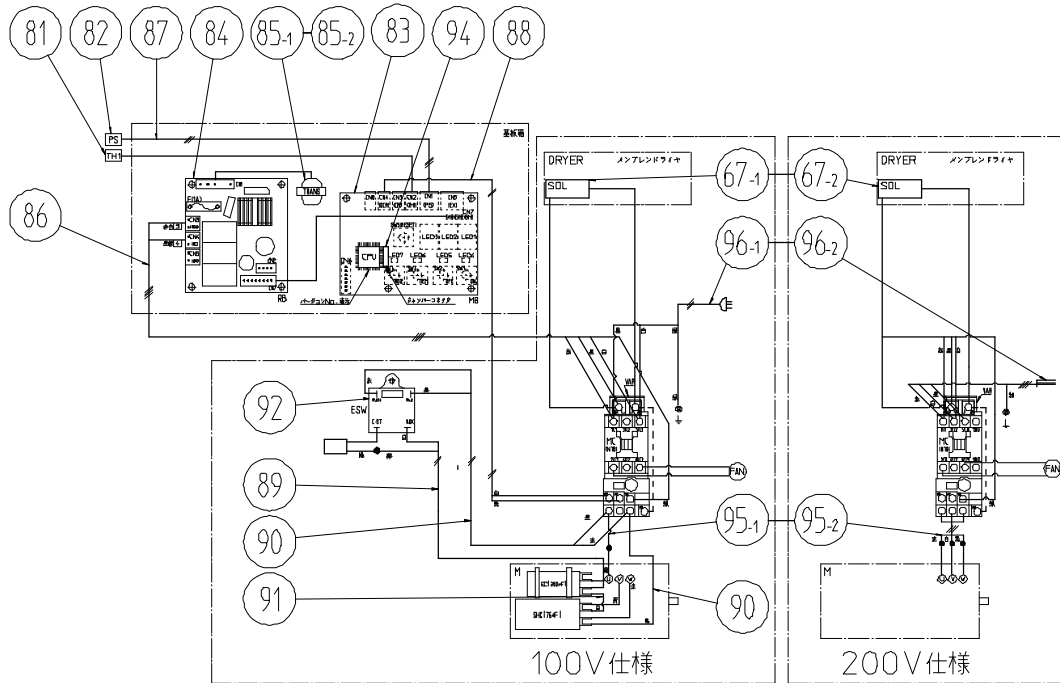
No.	品名	使用数量
61	温度センサ	1
62	圧力センサ	1
63	メイン基板セット	1
64	リレー基板セット	1
65-1	トランス (AC100V 用)	1
66	基板コード*	1
67	圧力センサコード*	1
68	サーマルコード*	1
69	コンデンサコード* (1)	1
70	コンデンサコード* (2)	1
71	コンデンサコード* (3)	1
72	電子スイッチ	1
73	電子スイッチコード*	1
74	ジャンパーコネクタ	1
75-1	電動機コード* (AC100V 用)	1
76-1	電源コード* (AC100V 用)	1

200V仕様用

No.	品名	使用数量
61	温度センサ	1
62	圧力センサ	1
63	メイン基板セット	1
64	リレー基板セット	1
65-2	トランス (AC200V 用)	1
66	基板コード*	1
67	圧力センサコード*	1
68	サーマルコード*	1
72	ジャンパーコネクタ	1
75-2	電動機コード* (AC200V 用)	1
76-2	電源コード* (AC200V 用)	1

付録

●ドライヤ付きセット



100V 仕様用

No.	品名	使用数量
67-1	電磁弁(AC100V 用)	1
81	温度センサ	1
82	圧力センサ	1
83	メイン基板セット	1
84	リレーハンセット	1
85-1	トランス (AC100V 用)	1
86	基板コード	1
87	圧力センサコード	1
88	サーマルコード	1
89	コンデンサコード (1)	1
90	コンデンサコード (2)	1
91	コンデンサコード (3)	1
92	電子スイッチ	1
93	電子スイッチコード	1
94	ジャンパーコネクタ	1
95-1	電動機コード (AC100V 用)	3
96-1	電源コード(AC100V 用)	1

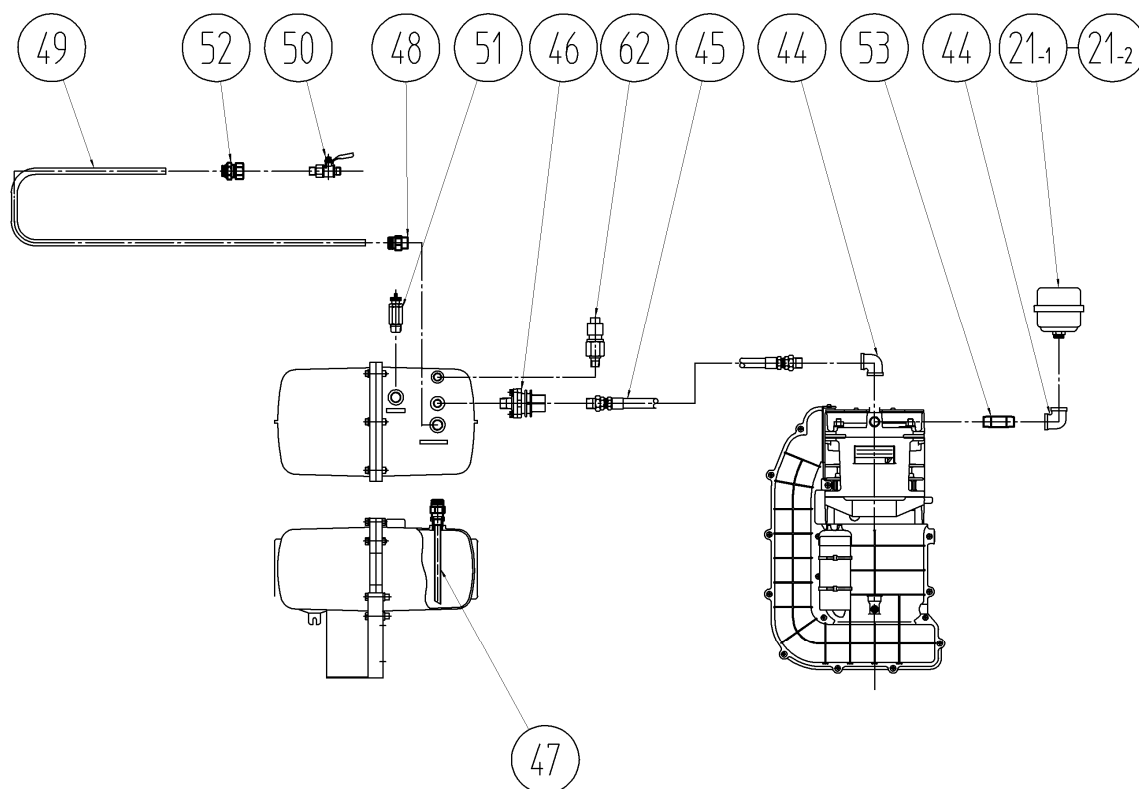
200V 仕様用

No.	品名	使用数量
67-2	電磁弁(AC200V 用)	1
81	温度センサ	1
82	圧力センサ	1
83	メイン基板セット	1
84	リレーハンセット	1
85-2	トランス (AC200V 用)	1
86	基板コード	1
87	圧力センサコード	1
88	サーマルコード	1
94	ジャンパーコネクタ	1
95-2	電動機コード (AC200V 用)	1
96-2	電源コード(AC200V 用)	1

付録

■配管図

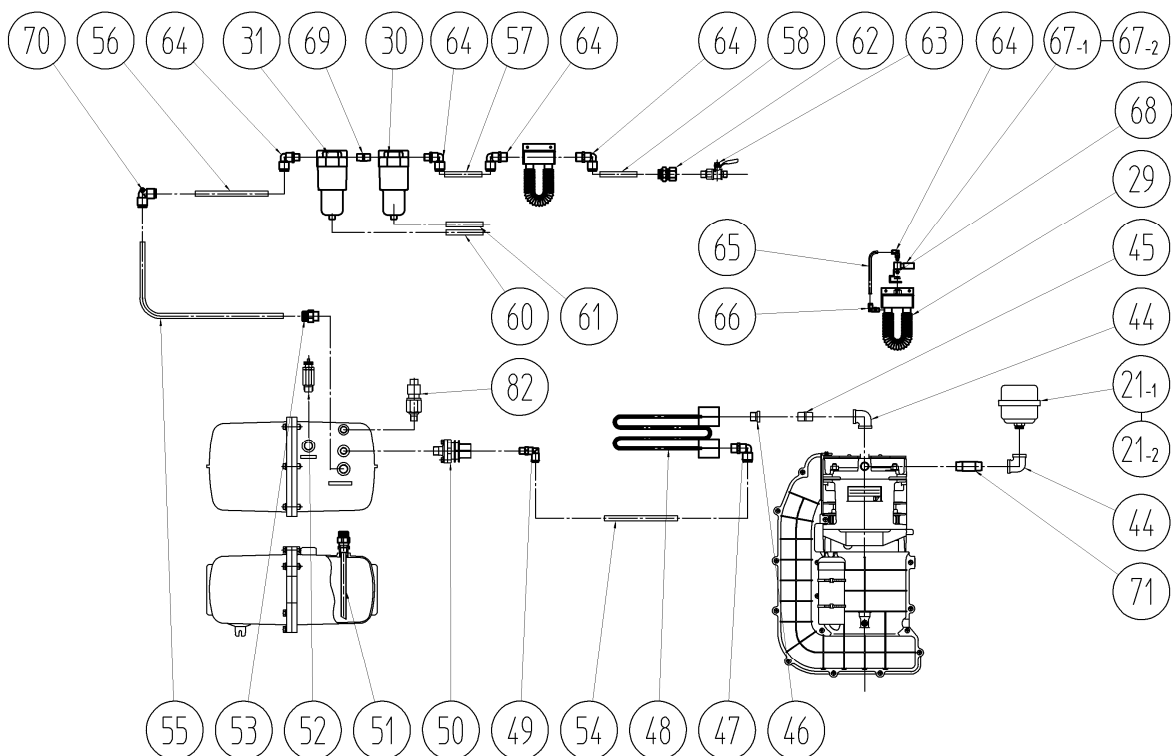
●ドライヤ無しセット



No.	品名	使用数量
21-1	吸入口セット	1
21-2	フィルタ	1
44	エルボ	2
45	フレキシブルチューブ	1
46	逆止弁	1
47	ドレン抜きパイプセット	1
48	ハーフユニオン	2
49	ナイロンパイプ	1
50	ボールバルブ	1
51	安全弁	1
52	隔壁スユニオン	1
53	ロングニップル	1
62	圧力センサ	1

付録

●ドライヤ付きセット

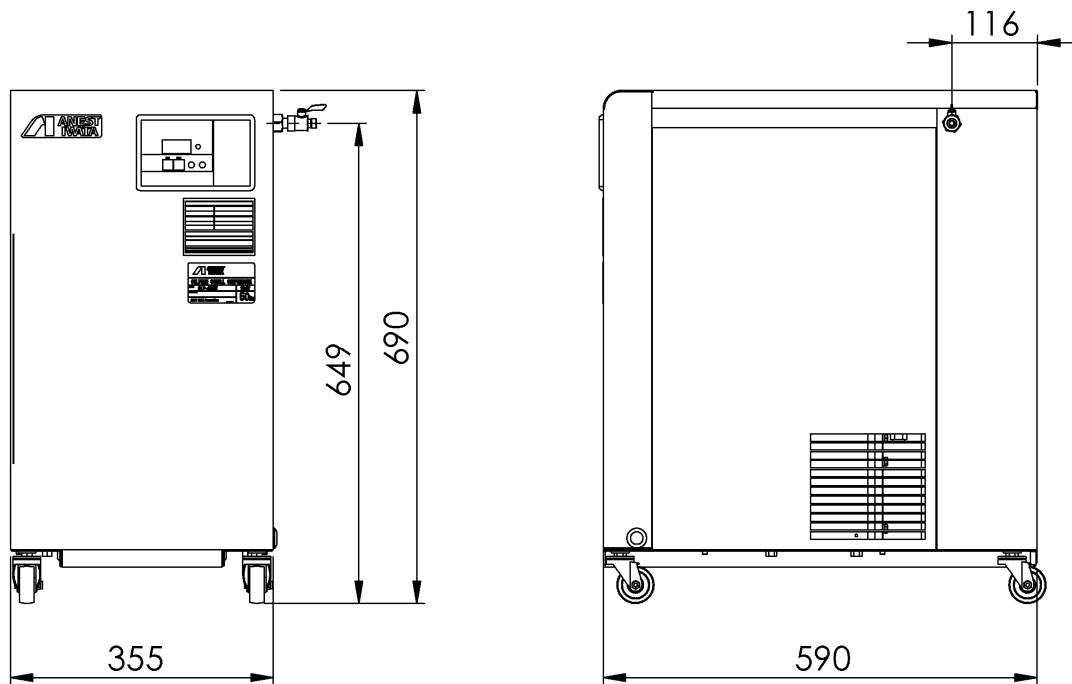


No.	品名	使用数量	No.	品名	使用数量
21-1	吸込口セット	1	56	ナイロンパイプ	1
21-2	フィルタ	1	57	ナイロンパイプ	1
29	ランプドライヤ	1	58	ナイロンパイプ	1
30	空気清浄機	1	60	ナイロンパイプ	1
31	ドレンセパレータ	1	61	ナイロンパイプ	1
44	エルボ	1	62	隔壁マスユニオン	1
45	バレルニップル	1	63	ボールバルブ	1
46	ブッシュ	1	64	エルボユニオン	4
47	エルボユニオン	1	65	ナイロンチューブ	1
48	アフタークーラ	1	66	エルボユニオン	1
49	エルボユニオン	1	67-1	電磁弁(AC100V用)	1
50	逆止弁	1	67-2	電磁弁(AC200V用)	1
51	ドレン抜きパイプセット	1	68	SAオリフィス	1
52	安全弁	1	69	バレルニップル	1
53	ハーフユニオン	1	70	両口エルボユニオン	1
54	ナイロンパイプ	1	71	ロングニップル	1
55	ナイロンパイプ	1	82	圧力センサ	1

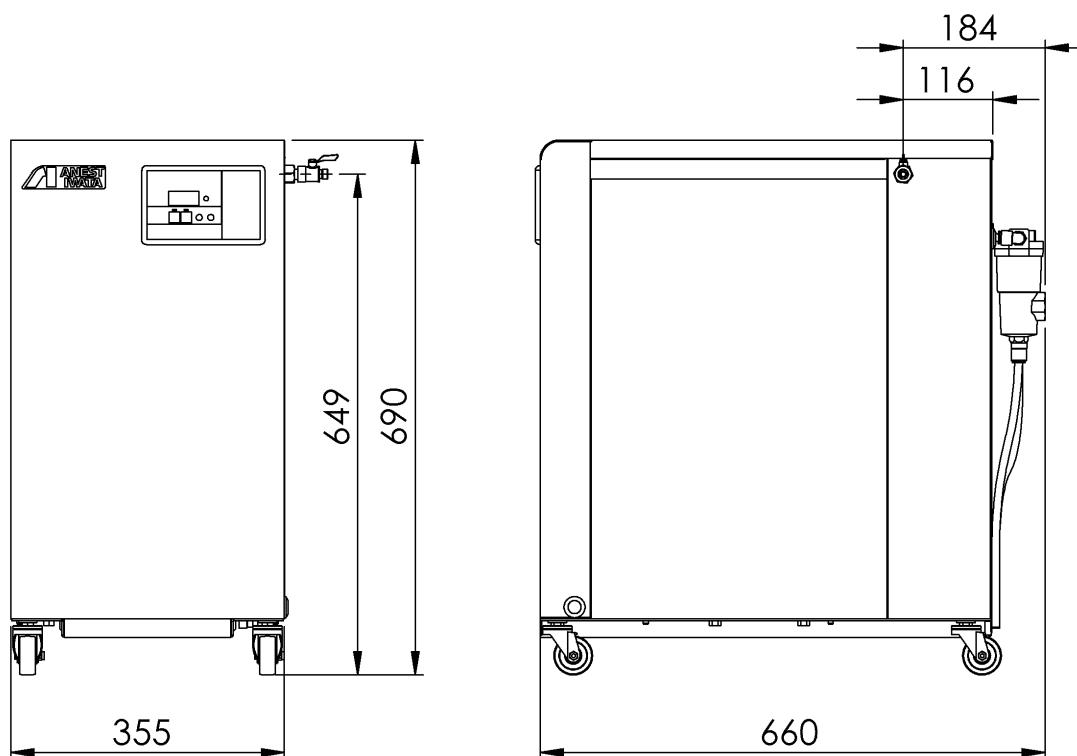
付録

■外観寸法

●ドライヤ無しセット

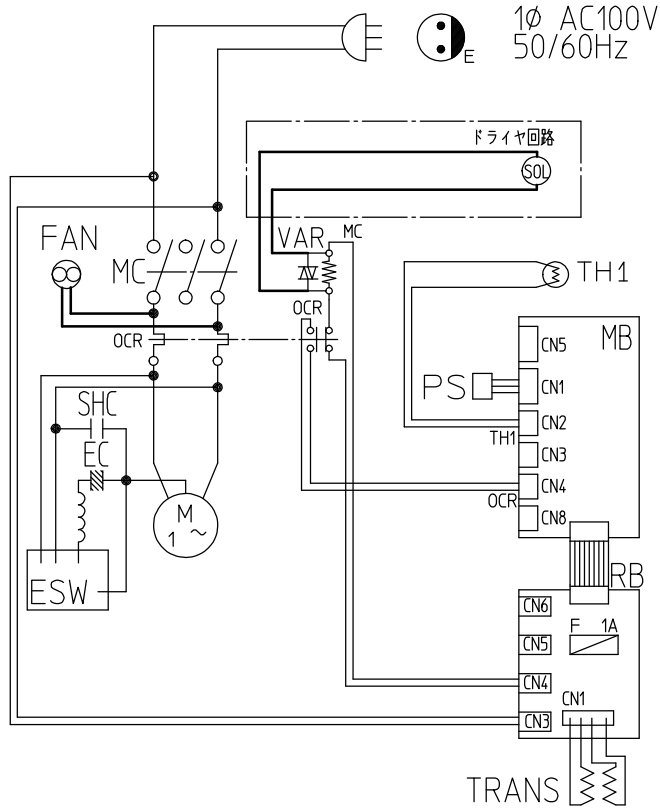


●ドライヤ付きセット

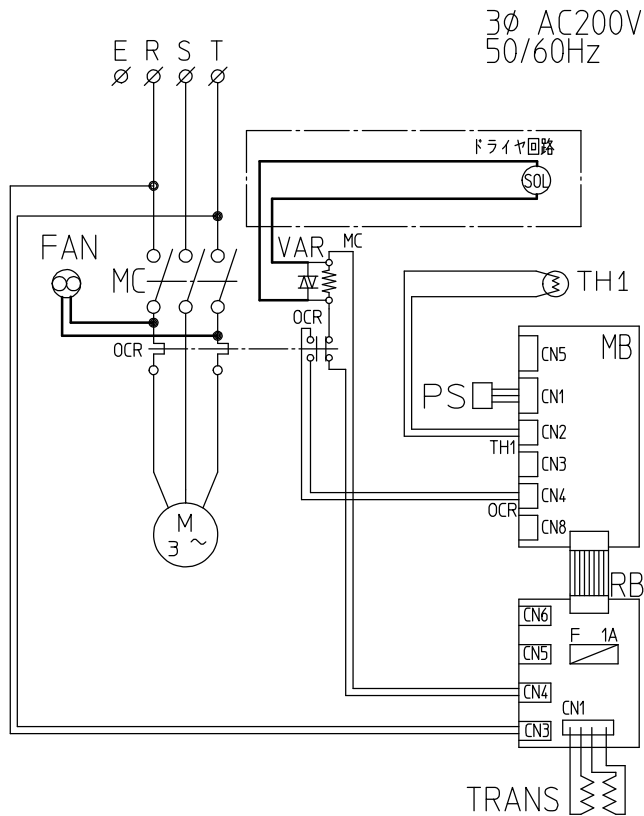


付録

■回路図



記号	品名
M	誘導電動機
FAN	ファン
MB	メイン基板
RB	リレー基板
TRANS	トランス
MC	電磁開閉器
PS	圧力センサ
TH1	温度センサ (本体)
SHC	SHコンデンサ (運転用)
EC	電解コンデンサ (起動用)
ESW	電子スイッチ (起動用)
SOL	ドライヤ用電磁弁
VAR	サージ吸収器



記号	品名
M	誘導電動機
FAN	ファン
MB	メイン基板
RB	リレー基板
TRANS	トランス
MC	電磁開閉器
PS	圧力センサ
TH1	温度センサ (本体)
SOL	ドライヤ用電磁弁
VAR	サージ吸収器

関連法規

コンプレッサの設置、使用に際しては、安全および公害対策上、法規の適用をうけます。

このため各種の届出、規制基準の遵守義務が生じます。

■労働安全衛生法に基づくもの

●労働安全衛生規則の安全基準

ベルト覆の取付

・危害をうける恐れのある回転部分には、ベルト覆または囲い等を設けること。

（例）パッケージなしの状態での運転はしないこと。

アース線の取付

・漏電による感電災害を防止するため、感電防止用漏電ブレーカの接続または電動機の金属製外皮部分からアースを設けること。

（例）電動機で専用の接地端子から接地極（確実に大地と接続していること）に接続。

●圧力容器安全規則による設置報告および安全維持

オイルフリースクロールコンプレッサに、40L以上の空気タンクを接続してご使用になる場合、次の事項を必ず守ってください。

掃除および点検

・使用者は毎年1回以上次の事項について定期自主検査を行ない、その結果を記録し、3年間保管しておくこと。

①本体の損傷の有無。

②ふたの締め付けボルトの摩耗の有無。

③管および弁（止め弁、安全弁）の損傷の有無。

●罰則

前記の規則に違反した場合には、改善勧告、使用停止処分、懲役もしくは罰金が課せられます。

関連法規

■騒音規制および公害防止条例に基づくもの

●騒音規制法および振動規制による設置届

コンプレッサで駆動定格出力7.5 kW以上のものは、条例によって定められた指定地域にあつては特定施設として届出が必要です。

なお各都道府県により基準が異なりますので工場、事業所の所在地の区、市役所および町村役場の公害担当窓口で確認してください。

届出	<ul style="list-style-type: none">・新設届。(新しく設置しようとする場合)・数などの変更届。(コンプレッサの台数および種類を変更する場合)・騒音防止方法変更届。(発生騒音の防止方法を変更する場合)
届出期日	<ul style="list-style-type: none">・設置(変更)の工事開始の30日前に届出る。
届出場所	<ul style="list-style-type: none">・工事、事業場の所在する区、市役所および町村役場の公害担当窓口。

●公害防止条例(振動および騒音発生の規制)による設置届

コンプレッサで7.5 kW未満のものでも、各県の条例による規制による騒音発生施設の設置(または変更)の届出が必要になります。

なお各都道府県により基準が異なりますので工場、事業場の所在地の区、市役所および町村役場の公害担当窓口で確認してください。

保証と修理サービス

■保証について

保証書（保証規程）

お買いあげの商品を本取扱説明書にしたがって正常のご使用状態で万一故障が起きましたときは、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

形式	SLP-		品名	オイルフリースクロールコンプレッサ	
お客さま	御社名				
	お名前				
	ご住所 〒□□□-□□□□				
	TEL () -		FAX () -		
保証期間	お買いあげ日 年 月 日から 「1年間」または「2,500時間」 のいずれか先に到達した期間を「保証期間」とします				
販売店	販売店				
	住所 〒□□□-□□□□				
	TEL () -		FAX () -		

●無償修理を受けるための条件および手続きと保証の範囲

- (1)本保証書と購入日を証明できる領収書・納品書などをご提示のうえお買い求めの販売店または最寄りの当社支店・営業所にご依頼ください。
- (2)本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (3)本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次補償に対する保証はいたしません。

◆次の場合は保証期間内でもお客さまのご負担（有償）になります。

- (1)本保証書のご提示がない場合。
- (2)本保証書にお名前、お買いあげ日、販売店名の記載がない場合あるいは字句等を書換えられている場合。
- (3)取扱上の不注意・取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷。
- (4)消耗品の交換・修理。
- (5)指定外の動力源(電圧、周波数、燃料他)または天災・地変(火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など)による故障および損傷。
- (6)純正部品以外の部品が使用されている場合。
- (7)当社指定の修理店以外による修理がなされている場合。

●法的責任

本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等またご不明の点はお買い求めの販売店または最寄りの当社支店・営業所までお問い合わせください。

保証と修理サービス

●保証書の保管

「保証書」は、内容をよくお読みになったうえで、「お客様のお名前・ご住所」、「お買いあげ日」、「販売店」など 必要事項については、誠に恐縮ですがお客様でご記入していただき、納品書とともに大切に保管して下さるようお願いいたします。
本保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保管してください。

■修理サービスについて

●修理を依頼されるときには


お買い求めの販売店または最寄りの当社支店・営業所にご相談ください。
このときお買いあげの商品の形式名およびお買いあげの時期をお知らせください。

保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料にて修理いたします。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。その他ご不明な点は最寄りの当社支店・営業所へお気軽にお問い合わせください。


お問い合わせ先

➤ 電話でのお問い合わせ

- ・コンプレッサ、窒素ガス発生装置、真空ポンプ、DIY 商品に関するお問い合わせ

 **0800-111-9681**

- ・その他、上記以外に関するお問い合わせ

 **0120-917-144**

受付時間： 9:00～12:00/13:00～17:00

但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く。

➤ メールでのお問い合わせ

<http://www.anest-iwata.co.jp>

メモ



A series of horizontal dashed lines for writing.

 **アネスト岩田株式会社**

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

コードNo. 02597124
C041-00